問3 CRC(巡回冗長検査)に関する次の記述を読んで、設問1~3に答えよ。

CRC は,誤り検出方式の一つである。送信側でデータに誤り検出符号(以下,符号という)を付加して送信し,受信側で検査することによって,転送の際の誤りの有無を判断する。

2 Λ.88 1	ンちんきいせん		ルフルフエレいがニナ	数体来の中から端へ
設問 1	次の記述中の	1	に入れる正しい答えを,	
HX 1-3 ·	OCCO PLONE 1 42		C/(TOBE OT HITCE)	11 H H 1 1 1 7 2 10

CRC を採用したパケット転送システムでは、送信側でパケットに符号が付加され、受信側で誤りの有無を検査する。受信側で誤りが検出されると、送信側に対して該当パケットの再送を要求する。100 個のパケットに格納されたデータの転送において、受信側が実際に受信したパケットが、再送されたパケットも含めて 個であったとすると、受信したパケットの 20%から誤りが検出されたことになる。ここで、送信したパケットは必ず相手に届くものとする。また、パケットの再送要求は誤りなく届き、再送要求には必ず応じるものとする。

解答群

 ア 100
 イ 102
 ウ 120
 エ 125

 設問 2
 次の記述中の
 に入れる正しい答えを、解答群の中から選べ。

任意の長さのビット列の符号を求める計算手順を次に示す。ここで,符号の長さは*n* ビットとする。

(n ビットの符号を求める計算手順)

- (1) 左端及び右端のビットが 1 である (n+1) ビットのビットパターン (以下, マスクという) を定める。
- (2) 符号計算対象のビット列の右端に n ビットの 0 を付加したビット列を作る。
- (3) (2)で作ったビット列に対して次の操作を行う。
 - ① ビット列の左端から調べ、最初に値が1であるビットの位置pを見つける。
 - ② p を左端とし p+n を右端とする部分ビット列に対し、マスクで排他的論理和 (XOR) を取る。
 - ③ ビット列の右端nビット以外がすべて0になるまで、①及び2を繰り返す。

(4) (3)の操作で得られたビット列の右端 n ビットが符号となる。

図に、マスクが101のときの符号(2ビット)を計算する例を示す。

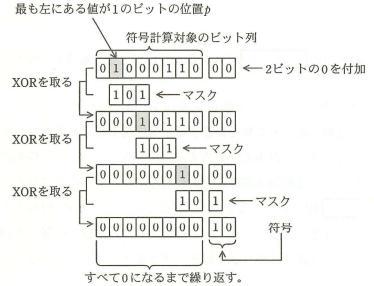


図 マスクが 101 のときの符号 (2 ビット) を計算する例

マスク 101 で計算した, 符号計算対象のビット列 0010 0110 の 2 ビットの符号は である。

解答群

ア 00

イ 01

ל 10

工 11

設問3 次の記述中の に入れる正しい答えを、解答群の中から選べ。

誤りの有無の検査は、次の手順で行う。

〔誤りの有無の検査手順〕

- (1) 受信したビット列に対して、送信側で符号の計算に利用したものと同じマスクを使い、 $(n \, \text{ビットの符号を求める計算手順})$ の(3)と同じ処理を行う。
- (2) 右端 n ビットの値によって、誤りの有無を判断する。

受信したビット列(符号が付加されたビット列)を、誤りの有無の検査手順に従って検査すると、誤りがなければ最後に残った右端 n ビットの値は a になる。このことは次の手順で説明できる。

〔手順〕

- (1) 符号計算対象のビット列を一つの数値 D と見ると、符号 C は次の式で表せる。
 - 式① $(D \times 2^n) \oplus d_1 \oplus d_2 \oplus \cdots \oplus d_m = C$

ここで、 \oplus は XOR を表し、m は XOR の繰返し回数とする。 d_i ($1 \le i \le m$)はマスクに対応するビット列である。図の例では、 $d_1 = 0101000000$, $d_2 = 0001010000$, $d_3 = 0000001010$ である。

(2) 〔誤りの有無の検査手順〕で得られた結果の右端 n ビットの値 T は、次の式で表せる。

式②
$$(D \times 2^n) \oplus C \oplus d_1 \oplus d_2 \oplus \cdots \oplus d_m = T$$

(3) 式②を変形すると次の式となる。

式③
$$(D \times 2^n) \oplus d_1 \oplus d_2 \oplus \cdots \oplus d_m \oplus C = T$$

(4) 式①と式③によって,

aに関する解答群

ア すべてのビットが0

イ すべてのビットが1

ウ 符号と同じ

エ 符号の各ビットを反転させたものと同じ

bに関する解答群

 $P 2^{n} - 1$

1 C

 $\dot{\mathcal{C}} \oplus (2^n - 1) \qquad \mathcal{I} \quad \mathcal{C} \oplus \mathcal{C}$

cに関する解答群

ア 誤りが含まれる

イ 誤りは含まれない

ウ 誤りが含まれるか否かは判断できない